

活用するスマート農業技術

自走操舵トラクタ（直進アシスト）

新たな生産の方式

ほ場の大区画化、均平化

水稲において、畦畔除去によるほ場の大区画化とともに均平化を行うことにより、自動操舵トラクタの作業効率を向上させ、労働生産性の向上を図る。

<申請者>

株式会社 遠藤農産（山形県東置賜郡川西町）
経営概況（2026年3月時点）

経営規模：水稲51ha、大豆9ha、WCS3ha、
牧草6ha

従業員数：5名

<対象品目>

水稲

<計画の実施期間>

5年間

<活用予定の支援措置>

補助事業の優遇措置

<生産方式革新事業活動のイメージ 等>



遠藤農産の皆様



自動操舵トラクタ

～認定を受けて一言～

地域では担い手不足が進み、農地の受け手として当社への農地集積が進んでいます。今後の経営面積拡大に対応するため、本計画によりレーザーレベラー等を導入し、ほ場の均平化や区画拡大による作業効率の向上と生産性向上を図ります。地域農地の維持と持続的な農業経営の確立を目指して取り組んでいきます。